

## 【記録】令和7年度 第2回徳島県立池田支援学校 学校運営協議会

### 1 日 時

令和7年10月21日（火） 9：20～11：50

### 2 場 所

徳島県立池田支援学校美馬分校

### 3 日程及び会次第

9：20～ 9：50 受付

9：50～10：30 授業参観

10：40～11：50 学校運営協議会

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）学校長挨拶

（4）報告及び協議

・第1回学校運営協議会において委員よりいただいた提案事項について

・各委員からの提言について

（5）第3回学校運営協議会について

（6）閉会

### 4 報告及び協議内容の記録

#### （1）学校からの活動報告

##### 【本校】

##### ①スクールバス添乗員募集について

○事務局 ①三好市・東みよし町・つるぎ町の広報誌に募集を掲載。

校長が直接依頼した。

②東みよし町の2店にチラシを掲示してもらった。

③8月にみまカフェのお客様に直接チラシの配布と困り感を説明した。

チラシは、カラーを変え4種類作成。

その後、4名の募集があり、先週面接を経て2名の添乗員が決まった。

11月から添乗予定。しばらくは、教員と一緒に添乗し、安全な運行ができるよう業務を引き継ぐ。

##### ②教員不足について

○事務局 委員様より鳴門教育大学への求人方法（1年間勤務の常勤講師と週数日授業時間のみ勤務の非常勤講師）の募集の仕方について、ご教示いただいた。第1回運営委員会後に何名かの非常勤講師が決まり、足りない状態は続いているが、現在は何とか学校・学級運営ができています。年度初め等、教員

が不足している時期に申請させていただくことがあるかと考えている。

③焼き芋用ドラム缶について

○事務局 委員様からご紹介いただいた方にドラム缶をご寄付いただき、すでに保管している。小中高合同の芋掘りを10月24日（金）に予定している。ドラム缶は、10月31日（金）の午後、高等部を中心にウインナーやマッシュマロを焼いて試運転を予定している。

【分校】

①支援学校みまカフェについて

○事務局 たくさんの地域の方や小・中学校の支援学級の方にご来店いただき、子どもたちが日頃の学習で身につけた力を般化・応用する機会となっている。子どもたちの教育の資源として、これからも、『幅広く多くの方に来ていただきやすいカフェ』を維持できればと考えている。  
ご提言いただいた『学校教育の視点からのカフェ事業の成り立ちや運営の指針』の掲示については、現在HPへ掲載しているものに加え、店内への掲示についても、その方法を検討している。

②地域貢献活動について

○事務局 農園で育てた野菜や花を、みまカフェでは感謝の気持ちを伝えながら、阿波銀行ではみまカフェのチラシと共に、さらにご提案いただいたケアプラザ美馬では職場としての見学をさせていただきながらお配りさせていただくなど、美馬分校のことを知っていただく啓発のツールとして、また地域の方との交流のきっかけとして活用している。  
生徒からも、「喜んでもらえるのがうれしい。」「笑顔になってもらえるので続けたい。」などの声も上がっており、「野菜や花」を活用した地域貢献活動を、これからも継続したいと考えている。

③地域の方への教室の開放について

○事務局 体育館のエアコン設置が完了し、9月から使用できるようになったことを受け、体育館やグラウンドの貸し出しについての規程を8月に見直した。あわせて、各教室についても、地域の方や自治体の方からの申し出があれば、その都度対応したいと考えている。

（２）各委員からの提言について

●委員 A 教員が増えたことは良かった。まだ不足していることについて、募集を続けるか？

○校 長 県教委には引き続き要望している。不足しているのは、産休や育休の補充。4月当初は特に本校で不足していた。今は、県レベルで不足している状況。本校の状況は良くなったが、引き続き募集をしていく。

- 委員B 授業見学ありがとうございました。児童生徒数が増えている状況で、教員不足は深刻な問題。地元の池田小学校でも教員不足と聞いた。県全体の問題と聞き、非常に危惧するところ。私自身も知り合いなど探してみる。
- 委員C 人材不足は、私たちの施設でもある。人材を維持するために別の視点で考える必要もあると思っている。外国人の活用など、日本国内だけで補うのは難しいと感じている。
- 授業を参観して、生活場面とは違い楽しそうであった。先日、調理の授業で学んだことを、施設の活動場面で活かし披露してくれた。学校で取り組んだことを生活に般化させ、就職に繋げていることが良いことだと思う。ビルメンテナンスのスキルは、他の施設に行って活かす場面を作る等の工夫をしたいと考えている。ご協力をお願いしたい。
- 委員D 授業は楽しそうだった。教え方は、児童生徒が分かる工夫がされており、感動した。
- 美馬分校で学習発表会を参観した。ビルメン甲子園出場生徒による実技披露を見て、また検定もあると聞き、素晴らしいと感じた。
- 毎週通っているカフェでは、生徒とあいさつや実習等の話をする事で元気や感動をもらっている。今日の授業参観でも感動をしている。孫が2人いるが、見習って頑張るように伝えたい。
- カフェに通うようになって、運営委員になって、感動と感激しかない。
- 委員E 授業参観をさせていただいて、活動報告をしていただいて良かった。
- 自身の法人も30名ほど人手が足りおらず、人員が増えたことはうれしい。応募のあったスクールバス添乗員は、学校関係者か？そうでないか？
- 校 長 学校関係者でなく、ハローワークの募集等を見て来ていただいた人。
- 委員E チラシは4色あったが、どれが一番効果があったか？
- 事務局 青が一番インパクトがあり効果があった。
- 委員E 参考にしたい。
- 美馬分校の校舎とグラウンドを地域の人への開放は、どのように広報しているか？
- 事務局 つるぎ高校、地域の役場等は必要なときにご連絡いただいている。
- 一般の地域の方への広報は、まだできていない。
- 委員E 使用制限等はあるか？
- 校 長 体育館に空調が入り、電気代やガス代が貸し出し時に必要となったため、今年度規定を見直した。営利目的の貸し出しはしていない。本校や学校関係者への貸し出しが優先。本校では、すぎのこさんの運動会に貸し出した。分校では、卒業生によるバスケットチームに貸し出しをしている。
- 委員E 地域の施設は、年間の貸し出しが埋まっていて、新たに取りにくい状況。

こういう環境があれば少しでも分散できる。貸し出しを知らない人も多いので、エアコンも付き更に良い環境なので、広報してほしい。

- 委員 F 授業参観は、先生方が非常によく考えて指導していた。子どもたちは幸せだと感じた。  
箬蔵の婦人会で活動している。5月に『ゴミ0運動』としてゴミの分別などの勉強会を小学部児童と行った。児童の活動と先生方のサポートが素晴らしく、勉強させていただいた。第2弾がもうすぐある。楽しみにしている。婦人会でできることがあれば、お声かけをしていただきたい。
- 委員 G 第1回運営協議会で提案したことを実施してくださりありがとうございました。授業見学もありがとうございました。2日間のオープンスクールは長い参観時間で保護者の参観も増えるだろう。このような保護者が学校に来る機会を増やしてほしい。  
芋掘りがあると聞いたが、保護者も参加するのか？
- 校 長 箬蔵山荘さんの畑に行かせてもらって芋掘りをする。今年春にお声かけいただき実現した。今回は施設の利用者さんや職員の方との交流を目的としており、保護者の参加予定はない。
- 委員 G 芋掘りは楽しそうなので、来年度以降保護者参加を検討してほしい。いろんな機会を捉えて保護者が参観・参加する機会が増えれば、学校への信頼も高まると思う。  
委員Dさんのような美馬分校ファンの方は他にもいるか？
- 委員 D 他にもたくさんいる。みまカフェの常連さん等、みまカフェを盛り上げたいと思っている。
- 委員 G 将来的に、池田支援学校ファンクラブのようなものを作ってもらえると、オープンスクールや他の参観案内等を、学校のために何かしたいと思っている信頼できる地域の人に案内できる。家庭・地域と連携・協働をとおした学校づくりにつながると考える。
- 委員 H 授業参観をして、息子の成長を実感した。  
美馬分校の学習発表会を娘と参観した。娘と一緒に競技をやってみたかったと話していた。創意工夫された競技と一緒にやる機会があっても良かった。
- 教 頭 美馬分校の学習発表会は、やってきたことを学年ごとに自分たちで考えて発表する文化部門とビルメンテナンス甲子園の技能発表、体育部門の発表を行った。体育部門の競技は、3チームに分かれて大きなボールをパスで運びタイムを競う競技、キックでストラックアウトをする競技、長縄の競技の3つをし、最後は来場者の方と綱引きをし対戦する場面もあった。会議室では作品発表もした。半日だったが、生徒たちのいきいきとした表情が見られた。

- 委員D 学習発表会について、家族2名までと思って参加できなかった知人がいた。参加者記名欄が2名分しかなく、そう思った。先生に人数制限なしにするよう話をしてみると伝えている。
- 教 頭 参加人数を制限したつもりはなかった。
- 委員H 人数制限をするとは書いてなかったが、名前を書いていないのに行っても良いのかと考えた。
- 教 頭 家族の方と卒業生は参加できる。来年度は記載方法を考え、誤解が生まれないよう改善する。
- 委員I 美馬分校の学習発表会に昨年度、今年と行き、推しの生徒ができた。地域の人に見てもらおうと、学校全体でなくても、「この子を応援したい」と思う人ができるのではと思う。行事に地域の方をどんどん招待しても良いのでは。
- 西部地域の8つの寺（瑠璃光寺、密厳寺など）で『ハヶ寺参り』をしている。お寺と生徒のつながり（お接待やお花の教室など）ができればいいと思う。例えば、瑠璃光寺ではお花の教室があり、足代小学校の児童にフラワーアレンジメントの教室をしたこともある。実際に行けなければ、作ったものを寺の行事で配布してもらうなどすれば、寺に来た人と学校とのつながりができるのではと考える。最近でも、「支援学校ってどんなところ？」と聞かれることがあるので、地域の人とつながっていくといいと思う。
- 委員F 婦人会では、ボランティアグループとして、箸蔵小学校で本の読み聞かせをしている。他にも、年間を通してお米作りで交流をしているグループもある。ボランティアグループで子どもたちと関わっている。ボランティアグループは多い。交通安全や青少年育成など多々ある。こんなことがしたいと要望があれば、伝えてほしい。
- 委員D 美馬分校も地域の『あさがお会』と交流をすると聞いている。生徒があさがおの種を配布したことから始まり、今回は、あさがお会が自作の『みまカフェに行こう』などの歌を披露すると聞いている。
- 委員F 箸蔵でも見学会で箸蔵音頭を作り披露し、皆で踊った。
- 委員D みまカフェで南京玉すだれを生徒に披露して喜んでもらった。生徒もやってくれた。それが嬉しくて、ストローで南京玉すだれを3つ作り、学校に差し上げた。それを、先日の学習発表会で先生が使ってくれて感激した。来年は、校長先生にも是非やってもらいたい。そういう交流が楽しくて、みまカフェに通っている。
- 校 長 みまカフェは、来年10周年になる。地域の人の中に根ざしている。

今回、バス添乗に募集して下さった方たちは、全く学校が初めての65才以上の方たち。見学を提案すると、4名中3名が来てくださった。みなさん池田の方だったが、会うだけではだめで、知っていただくためには工夫が必要だと感じた。地域の特性がある。特性に応じた広報を工夫したい。

(3) 第3回学校運営委員会の日程について

○事務局 2月19日(木)に決定。